

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第30号

古牧だより通算124号

福祉特集

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯沢角雄
- 編集 福祉部会編集委員会
- 印刷 博光印刷株式会社

23年度がスタートしました

『心豊かに皆が幸せで住みよい街づくり』を目指して

福祉部会長ごあいさつ

小林逸郎



この度の地震により被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。栄村の被災のように県内にも天災はいつやってくるかわかりません。改めてその怖さを知らされたところです。

福祉に携わる私たちにとりまして、なにができるであろうか、災害時の支援体制のあり方等について区自主防災会との連携を図り検討していきたいと考えております。

さて、無縁社会と言われている今日におきまして、さまざまな課題が山積しておりますが、できることから、一つずつ確実に成果につながるよう取り組んでまいります。

「ふれあい・支え合い・学びあい」の柱に基づいて各区独自のスタイルで実施しているサロン事

業や健康増進、ふれあい事業や昨年各区で立ち上げました子育て支援事業・地域助け合い事業等について、これら主要事業の拡充をはかりながら、子供からお年寄りまで皆が気軽に集まれるそんな心の広場づくりのお手伝いをしてまいりたいと思います。

目指すところは、『心豊かに皆が幸せで住みよい街づくり』であります。地域の皆さんや福祉関係諸団体の皆さんのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆さんのご健勝を心からお祈り申し上げます。

福祉健康部長ごあいさつ

井澤 一幸



平成23年度の福祉健康部長を担当することとなりました北条区の井澤です。

不肖私は、今日まで伝統ある古牧地区社会福祉協議会時代より諸先輩の方々が築きあげてこられた地区での福祉と健康事業を引き続き実施していきたいと思っています。地区内のお年寄りの皆さまや、何かお困りの方々が「誰もが安心して暮せる・支え合える地域づくり」をモットーに少子高齢化が進行している中でいくらかでも福祉ニーズや課題に応えられるよう、「無理」をせず、「ずく」を出して、この古牧地区の福祉健康に携わっておられる皆さま方と一緒に取り組んでまいりたいと思います。

ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

子育て支援部長ごあいさつ

会津 淑子



平成23年度子育て支援部長をお受けした会津淑子です。

古牧地区では、子育て中の母親が気軽に立ち寄れる場、「子育て支援」が既存7地区に加え、昨年度は5地区で新たにスタートし現在、全12地区で活動を行っています。

これも各地区の皆さまの熱意とご苦勞の結果だと心から敬意を表します。

昨今、震災報道で映し出される被災他の子供たちの笑顔や、歯をくいしばってがんばる親や住民の姿に心動かされます。ここ古牧地区でも子供たちはもちろん、その親も地域の宝です。

社会環境が変化する中、親が安心して子供を育て、健全に子供が育つ地域づくりを目指して、皆様の力をお借りできれば幸いです。どうかご協力をお願い申し上げます。

『古牧福祉だより』は、「ぶらネットこまき」福祉特集になりました。福祉の情報を掲載していきますのでよろしくお願いします。

「福祉」平成23年度の実施事業内容のご案内

福祉健康部事業

昨年より内容を充実し、諸事業を進めていきます
皆さまの積極的な参加を期待しています

ぶらネットこまき「福祉特集」の発行

昨年同様、年4回発行しお届けします。皆さんに関心を持って喜んで読んでいただけますように古牧地区や各区の福祉活動の状況を解りやすくお知らせ致します。

研修会の充実

福祉大会を始め、福祉・健康・ボランティアなどに関する「各種研修会」を企画実施していく計画です。

本年6月9日、福祉関係の委員の皆さんが一堂に会し福祉大会を開催・研修しました。



料理教室



昨年度、大好評でした男性の料理教室、健康食の講習会を本年度も力を入れて取り組みます。

男性の皆さん、新たなジャンルに挑戦してみたいはいかがでしょうか。

食べる楽しみから作る楽しみ、そして新しい仲間との出会いの場にもなると思います。

年間6回、開催予定です。

《今後の開催予定日》

7/12 (火)、9/6 (火)、11/4 (金)
1/16 (月)、3/6 (火)

23年度第1回の「男性の料理教室」が5月9日に開催されました。
参加者の皆さんは、真剣かつ楽しそうにわきあいあいと取り組んでおられました。

ふれあい事業

一人暮らしの皆さんの集い、身体障害者の皆さん対象の希望の旅、介護者の皆さんの集い、子供さん達との世代間交流など、それぞれ異なる生活環境の中でお暮らしの人々が一堂に集い、コミュニケーションの輪を広げ新しい発見、喜びをみつけてみませんか。



子育て支援部事業

古牧地区民生児童委員協議会、更生保護女性会の皆さんと協賛して子育て支援事業、子育て相談を本年度も一層充実させて推進します。

- 毎週水曜日、にこにこ広場と銘打って、古牧児童センターで行っています。
- 毎月第3金曜日、遊びの広場と銘打って、古牧児童センターで行っています。

福祉自動車事業と家事援助サービス事業

皆さんの街で、ご近所に歩行が困難な人はいませんか。古牧地区ではそんな皆さんを支援する福祉自動車による移送サービスがあります。

また、一人住まいの高齢者の日常生活のお手伝いをするボランティア「家事援助サービス」があります。日々の生活にお困りの方は、一度、声をかけてみてください。

福祉部会委員 名簿

福祉部会長 小林 逸郎

地域福祉コーディネーター 小林ひと美

地域福祉ワーカー 小林 静子

福祉健康部		子育て支援部	
福祉推進員各区代表	保健補導員各区代表	各区代表	
安藤 健一 (北 条)	酒井 幸江 (北 条)	副部長	宇都宮英子 (北 条)
倉島 財子 (中 村)	北沢きよ子 (中 村)		浦野 貞子 (中 村)
高池 和三 (川 端)	荒井 恵子 (川 端)		倉石佳代子 (川 端)
副部長 (総務) 傘木 衛 (五分一)	水島 邦江 (五分一)		小林 良子 (五分一)
中澤 範一 (上高田)	保健補導員 副代表 村松 京子 (上高田)	副部長 (会計)	関川 幸子 (上高田)
塩入 義雄 (南高田)	松橋さつき (南高田)		小池 文子 (南高田)
高橋 光夫 (南長池)	増尾 良子 (南長池)		長田 公子 (南長池)
増田 真巳 (西尾張部)	宮澤なを子 (西尾張部)		宮澤美智子 (西尾張部)
甘利 和男 (東和田)	保健補導員 代表 堀米 春子 (東和田)	部 長	会津 淑子 (東和田)
副部長 (企画・広報) 井原 寿行 (西和田)	大矢由美子 (西和田)		太田 英子 (西和田)
須藤 秀樹 (JR宿舎)	萩原 学 (JR宿舎)		玉木しげ子 (平 林)
副部長 (会計・福祉サービス) 名取 貞夫 (平 林)	向井真美子 (平 林)		西澤 要子 (荒 屋)
小林由美子 (荒 屋)	保健補導員 副代表 西澤 静子 (荒 屋)	有識者	矢澤 純子 (荒 屋)
有識者		有識者	鈴木 國仁 (五分一)
部長(有識者) 井澤 一幸 (北 条)			
有識者 中村 邦雄 (東和田)			

各区の福祉事業の取り組み支援

皆さんの住んでおられます街(区)では福祉推進員や保健補導員、民生児童委員の皆さん達が中心となり、諸々の福祉事業を計画し実施してまいります。住民自治福祉部会では事業に必要な資金の助成、専門の福祉スタッフの紹介・福祉情報の提供など、皆さんの街の福祉活動を支援してまいります。

各区では、おしゃべりサロン(お茶のみサロン)、ふれあい会食やウォーキング・健康管理研修など、多彩な福祉事業を行う計画です。区民の皆さまの積極的な参加をお願いします。

福祉部会では、皆さんが健康で豊かで幸せな日々を過ごせますよう、お手伝いしてまいります。



そのほかに、各区では子育て支援事業として幼稚園や保育園入園前の子供さん達の子育ての場として、お近くの施設、たとえば公民館などを開放しています。

詳細は各区の子育て支援の委員にお尋ねください。

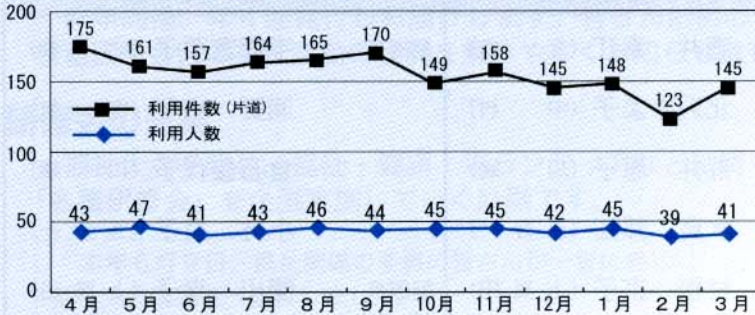
**皆が助け合い 福祉の街「古牧」
をつくりましょう**

あいりーん号通信 No.18

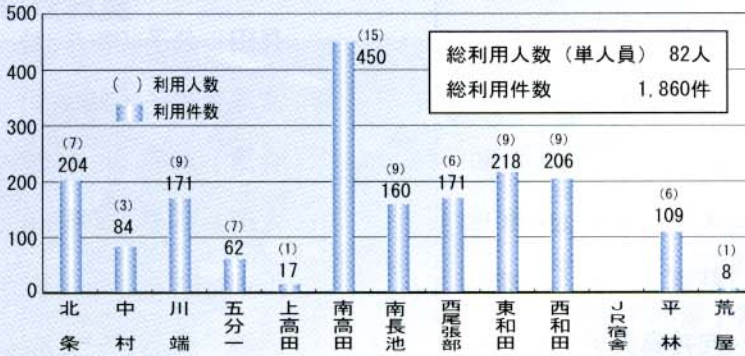
平成22年度 一年間の利用状況のまとめ



月別利用件数・利用人数 (片道：1件)



区別利用件数・利用人数



利用会員・協会員登録状況 (H23.4月末現在)

	利用会員	協会員
北条	13	1
中村	4	0
川端	15	1
五分一	15	1
上高田	1	2
南高田	34	2
南長池	15	0
西尾張部	18	3
東和田	16	3
西和田	16	0
JR宿舎	0	0
平林	8	3
荒屋	1	0
合計	156	16



平成22年度一年間で

件数 1,860件
稼働日 243日
走行距離 14,648km
ガソリン 2,629.2ℓ
ガソリン代 348,927円
利用人数 (単人員) 82人
// (延人数) 1,083人

1日平均

4.5人が
7.7件利用し
60.3km
走った

行先 多い順 (延人数)

日赤 347人
中央病院 249人
市リハビリセンター 53人
県リハビリセンター 50人
市民病院 50人

相乗りの時もあります

2組いっしょ 163回
3組いっしょ 11回

平成22年度は、事故もなく無事過ごすことができました。運行件数は少なめでしたが、利用人数は同じくらいでした。昨年、「あいりーん号」は2回出張しました。7月31日川端区の福祉体験学習会と12月18日荒屋区の公民館開放です。参加した小学生から高齢者に「あいりーん号」を紹介して、実際に車いすに乗って「あいりーん号」リフトで乗車してもらいました。特に小学生には助手席のスライドアップシートと車いすの乗降は遊園地感覚で楽しんでいました。

こころ温まる話を一つ。福祉自動車利用会員Nさんの奥さんからストレッチャーを利用して病院へ行きたいなどの相談を受け、しばらくしてからNさんが亡くなったと奥さんが報告にわざわざ来てくれました。以前奥さんが支所に来たとき支所に飾ってあったバラをさしあげたのですが、そのバラの根がついたとのこと。当時バラから元気をもらい、いまでは旦那さんと思って育てているそうです。二人で涙ぐんでしまいましたが嬉しい話でした。

コーディネーター 小林ひと美

福祉自動車・福祉に関する
お問い合わせは...

古牧福祉サービスセンター (古牧支所内) **244-5522**

コーディネーター 小林ひと美
福祉ワーカー 小林 静子

編集
後記

東日本大震災及び長野県北部地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。未曾有の大震災には、日本民族が一丸となって一日も早い復旧に立ち向かわなければならないだろう。この災害を通して、弱者への救援体制の重要性を改めて痛感したが、それには隣近所のコミュニケーションが益々大切になるのではないだろうか……。 (M・M記)